

都市再生整備計画 事後評価シート

寝屋川市駅東地区

平成25年2月

大阪府寝屋川市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	寝屋川市		地区名	寝屋川市駅東地区			面積	24.2ha			
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	3,231百万円		国費率	0.441				
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	事業名 地域生活基盤施設(安全・安心創出事業、情報板)、高質空間形成施設((都)寝屋川駅前線)、高次都市施設(地域交流センター)											
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析、社会実験、構想策定)、まちづくり活動推進事業(文化振興事業、にぎわい創出事業、安全・安心創出事業)											
	当初計画 から 削除した 事業	基幹事業	なし		事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	事業活用調査(社会実験)		まちづくり活動推進事業(安全・安心創出事業)		ITの進歩に伴い、スマートフォンやGPS等を活用した高度なナビゲーション技術が一般化(平準化)しており、社会実験を行う意義が計画策定時と比べ大きく薄らいだため取りやめた。			影響なし				
		提案事業	まちづくり活動推進事業(安全・安心創出事業)		地域防災施設に変更した。		地域防災施設に変更した。			影響なし				
	新たに追加した 事業	基幹事業	地域生活基盤施設(地域防災施設)		高次都市施設(地域交流センター(駐輪場整備))		本施設は、(都)寝屋川駅前線の歩道空間の一部を「街角防災スペース」として防災施設の整備を行うものであり、当初計画から新たに施設の一部を追加した。			影響なし				
		提案事業	地域創造支援事業(図書館)				さらなる文化の振興とにぎわいの創出を図るべく、新たに(仮称)駅前図書館を開設するため追加した。			(仮称)駅前図書館の開設に伴い、文化の振興とにぎわいの創出の効果を図る指標として、指標6.図書館利用者数を追加した。				
		交付期間 の変更	当 初	－		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響		－						
	変 更	－												
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単 位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング		評価値						
	指標1	文化イベント開催数	回/年	373	H18	450	H24	－	745	○	あり なし	地域交流センターの整備により文化イベント開催数は増加し、地区内のにぎわい創出を図ることができた。	平成25年4月	
	指標2	景色・景観の満足度	%	24	H19	40	H24	－	53	○	あり なし	地域交流センターの整備等により、寝屋川市駅東地区の景観向上を図ることができた。	－	
	指標3	緑の満足度	%	17	H19	30	H24	－	39	○	あり なし	(都)寝屋川駅前線歩道における緑化施設等の整備により、駅東地区の緑化向上を図ることができた。	－	
	指標4	安全・安心の満足度	%	18	H19	30	H24	－	37	○	あり なし	(都)寝屋川駅前線歩道の一部を街角防災スペースとして整備するなど、駅東地区の防災性能向上を図ることができた。	－	
	指標5	地区内通行者数	人・台 /8時間	11,300	H19	11,900	H24	－	11,595	△	あり なし	● 目標達成には至らなかったが、寝屋川市の人口が減少傾向にあることや駅、バスの乗降客数が減少している中で通行者数は微増しており、事業の実施による駅東地区の賑わい創出に一定の効果があったと考えられる。	－	
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指標6	図書館利用者数	人/年	219,207	H18	246,393	H24	－	249,824	○	あり なし	近年の図書館利用者数は増加傾向にあり、(仮称)駅前図書館の整備により、さらなる文化の振興とにぎわいの創出が図れると考えられる。	平成26年4月	
	その他の 数値指標1	まちの整備の満足度	%	－	－			－	88			来街者の駅東地区の整備に対する満足度は、約9割が満足と評価しており、事業の整備の効果があったと考えられる。	－	
	その他の 数値指標2	交通の便の満足度	%	－	－			－	15			交通アクセス性の強化を図るため、情報板を設置し、一定の効果があったと考えられる。	－	
4)定性的な効果 発現状況	・寝屋川市駅東地区来街者アンケート調査において、「防災施設があった方が良い」、「道が広くなった」、「緑が増えて、景観が良くなった」等の歩行者空間の魅力向上や地区の景観の向上に関する意見が多く寄せられた。 ・地区内で実施した地元商店街との連携のイベント「ねやがわバル」は大きな反響があり、地元商店街で第2回開催の要望があるなど、地区のにぎわい創出に効果があった。													
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	実施なし。						都市再生整備計画に記載し、実施できた				－		
								都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				－		
								都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				－		
	住民参加 プロセス	実施なし。						都市再生整備計画に記載し、実施できた				－		
								都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				－		
都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								－						
持続的なまちづくり 体制の構築			地元商店街による組織(イーストファイブ)との連携により、駅東地区でのイベント開催の支援等、活性化の取り組みを行った。				都市再生整備計画に記載し、実施できた				● 今後も駅東地区の活性化のために、イベント開催等の施策を地元組織の協力の下、積極的に実施していく。			
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

寝屋川市駅東地区(大阪府寝屋川市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:潤い(にぎわい・景観・緑)とやすらぎ(安全・安心)の協創により、市民文化に支えられた都市環境を再生する。 目標1:市の中心核において生活・文化・交流の拠点を整備し、地域の活性化を図る。 目標2:市民の文化的活動が生み出され育まれる場を創造し、まちのにぎわいの創出を図る。 目標3:交通アクセス性の強化と防災性能の向上、歩行者空間のバリアフリー化を推進する。		文化イベント開催数	単位:回/年	373	H18	450	H24	745	H24
		景色・景観の満足度	単位:%	24	H19	40	H24	53	H24
		緑の満足度	単位:%	17	H19	30	H24	39	H24
		安全・安心の満足度	単位:%	18	H19	30	H24	37	H24
		地区内通行者数	単位:人・台/8時間	11,300	H19	11,900	H24	11,595	H24
		図書館利用者数	単位:人/年	219,207	H18	246,393	H24	249,824	H24
		まちの整備の満足度	単位:%	—	—	—	—	88	H24
		交通の便に対する満足度	単位:%	—	—	—	—	15	H24

■高次都市施設 地域交流センター

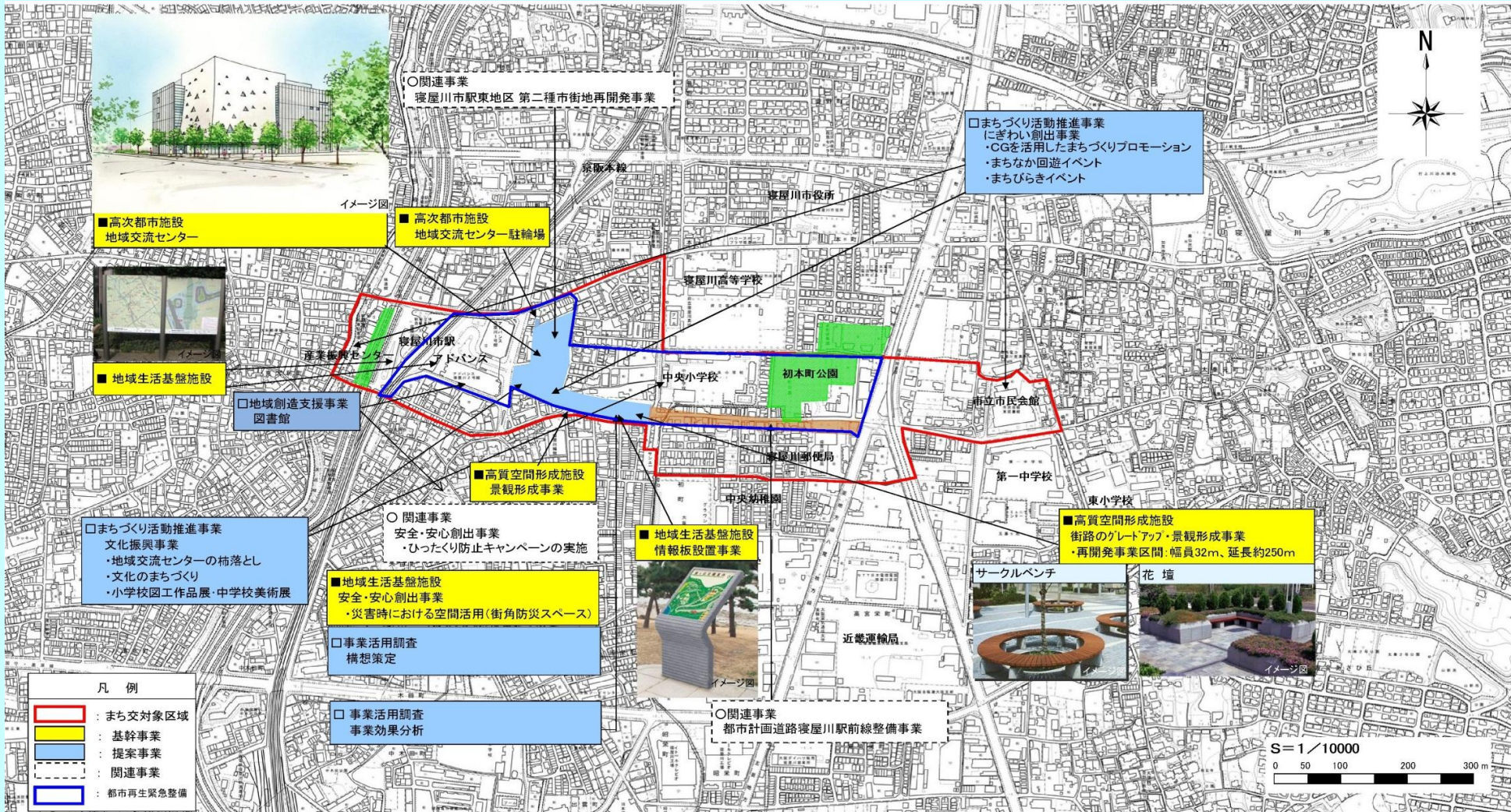


■高次都市施設 地域交流センター駐輪場



■地域創造支援事業 図書館





■地域生活基盤施設 情報板設置事業



■高質空間形成施設 景観形成事業



■高質空間形成施設 街路のグレードアップ・景観形成事業



まちの課題の変化	・アルカスホール(地域交流センター)を含む、(都)寝屋川駅前線の整備による密集市街地の防災性の向上、災害時に対応する防災施設の整備を行うなど、地域の防災機能を高めることができた。 ・アルカスホール(地域交流センター)が平成23年4月にオープンし、地域住民の交流やコミュニティ活動、また文化芸術活動拠点としての機能を高めることができた。 ・(都)寝屋川駅前線の歩道における、緑化施設や防災施設の設置により、適切な歩行者空間を確保することができた。 ・平成20年1月に市民会館内東図書館に子ども図書室を増床設置する等の対応により、近年の図書館利用者数は増加傾向にある。 ・(都)寝屋川駅前線の未整備区間が残っており、歩行者等が安全かつ快適に移動できるための改善など、駅東地区の交通利便性をさらに高める必要がある。 ・情報板の設置により、アクセス性の向上に一定の効果を得たが、さらなるアクセス性の向上を図るために情報板周知等を行うとともに、適切な歩行者空間の確保と連携した取組を行う必要がある。 ・防災機能の活用には、日頃の訓練と意識づけが必要であり、地域とともに施設の利活用に取り組む必要がある。 ・(仮称)駅前図書館及びギャラリースペース、アルカスホール、電通大学、市民会館等(都)寝屋川駅前線周辺公共施設を相互的一体的に活用するイベント等を開催し、駅前東地区のさらなるにぎわい創出を図る必要がある。
	今後のまちづくりの方策(改善策を含む)